

令和5年5月

## 令和4年度 データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）

### 自己点検・評価結果（途中経過）

#### ●「データサイエンス入門」によるデータサイエンスの重要性把握の効果

受講生に対するアンケートにおいて、「データサイエンス入門」を受講した学生の88%が、「自分と関わりのある分野、関わりのない分野、さまざまな場面でデータサイエンスが利用されていると学び、重要性を感じる事ができた。」等と、満足・やや満足と回答しており、受講生の56%が、実データを利用した分析やプログラミングの実習等の、より発展的な内容の授業を希望する結果であった。

#### ●主要科目「データサイエンス入門」「データサイエンス応用」、「データサイエンス分析実践」の令和4年度「授業改善に関する学生による授業改善アンケート」の結果

本学では、すべての科目において履修後に「授業改善に関する学生による授業改善アンケート」を実施しており、満足度、達成度を確認している。令和4年度「データサイエンス入門」は、満足度で90%（「あてはまる」、「ややあてはまる」の合計の割合）、達成度で88%（「あてはまらない」と回答した学生以外の割合）の学生が講義目的を達成したと回答しており、高い水準であることがわかる。学生からの自由意見では、“課題が多かった”等の意見があり、アンケートによる学生の理解度を把握し、次年度以降の講義改善に繋げている。

「データサイエンス応用」、「データサイエンス分析実践」では受講者数が少なかったため、割合では評価しにくいですが、受講者全員が講義に満足し、授業の到達目標を達成できたと回答している。